

Pyramix V11.1 Release Note

V11.1 新機能と変更点

入出力の増加

以下の通りにシリーズのチャンネル数が強化されました。

•	NATIVE ESSENTIAL	48trk (@1FS),	5.1 Bus
•	NATIVE STANDARD	48trk (@1FS),	7.1 Bus
•	NATIVE PRO	48trk (@1FS),	22.2 Bus
•	MASSCORE STANDARD		7.1 Bus
•	MASSCORE PRO		128 ch
•	MASSCORE EXTENDED		384 ch

Note: MassCoreユーザーは、Pyramix Native設定で使用すると、Playoutタイムラインのトラックを ミキサーに制限されることがなくなりました。

Native Standard と MassCore Standard ユーザーには、以下のオプションが加わりました。

- Pow-r Redithering
- DDP Creation
- Advanced Interchange (Sonic Solutions / Open TL Import / FCP XML)

EBU Audio Definition Model (ADM) メタデータのエクスポートが可能になりまし た:

- ADM メタデータのエクスポートはMixdownプロセスで行われます。
- ADM メタデータは Single Media オプションを使用する場合に、BWFファイルに入れられま す。
- ADM メタデータは、1つのADMオブジェクトが1つのPyramixミキサーのバスに対応します。 一般的なミキシング バスまたはオブジェクト バスのいずれかでなければなりません。エク スポートされたADMオブジェクトは、Mixdownのダイアログで選択したミックス ソースに対 応します。
- ADMプログラムとコンテンツは、選択したミックスソース(バス)に基づいてADMオブジェ クトを参照するように自動的に生成され、埋め込まれます。
- ADMメタデータを生成するには、"Insert ADM Metadata if target is BWF" のチェックボック スをオンにし、BWFとSingle Mediaを選択してミックスダウンに進んでください。
- 各ミックスソースのコンテンツを定義する追加のメタデータは、"Insert ADM" ボタンの近く のSettings で編集できます。
 - 各Mix Sources / Objectに言語(Language)を割り当てることができます
 - 各Mix Sources / Objectは、ダイアログオブジェクト(Dialogue object)として設定 できます



- 各Mix Sources / Objectは、オーディオ記述オブジェクト(Audio Description)とし て設定できます
- 選択したミックスソースに加えて、上記のメタデータは、ADMエクスポートプロセスが論理 的で包括的なADMプログラムおよびコンテンツを適切に作成するのに十分です。
- その他の設定オプション:
 - Dialogueなしで追加のプログラムを常に含めることができます。DialogueなしでBed とダイナミックオブジェクトのみを追加することができます。 このプログラムは、 追加の言語トラックを準備するためのダビングハウスに便利です。
 - オブジェクトとしてDirectSpeakerを生成すると、EBU標準スピーカーをバイパスし て、すべてのオブジェクトとベッドを純粋なADMオブジェクトとして生成できま
 - す。一部のADMレンダラーで必要になる可能性があります。

Archiving Metadat	3		
Insert Archivin	g Metadata if target	is BWF	
Generate Arch	iving Metadata XML a	long mixdown files	
Audio Definition Mo	del (ADM) & MPEG-H		
Insert ADM Me	tadata if target is BV	/F	Settings
Generate MPE	G-H Authoring Tool pr	oject	
	CONTRACTOR CONTRACTOR		and the second se

MPEG-H Authoring Toolプロジェクトの生成が可能になりました。

- MPEG-HATプロジェクトは、ADMメタデータの生成に使用されたのと同じメタデータを使用 します
- プロセスと設定はADMを生成する場合と同じです(上記を参照)。唯一の違いは次のとおり です。
 - MPEG-HATは、"One File Per Track"を使用したBWFを使用します。
 - "Generate MPEG-H Authoring Tool project" チェックボックスにチェックを入れて下 さい。

Target Settings	la a		_	Record O Whole composit	ion			
Mix Down Name	Mix Down of ADM Demo	Jown of ADM Demo			Between Marks			
Suffix with Bus Name	Unique filename extension	Single Media	~	O Selection				
Merita Folder	Fraunhofer MPEGH\A	-	Processing					
Theorem Condes			ADM	Metadata				×
Media Format	BWF	✓ Set	Bus		Language	Dialogue	Audio Descript	ion
Media Wordlength	24 [bps]		OB1	(Objects)	und	No	No	
Wandam			MB1	(Bed)	und	No	No	
Waveform	Generate WHILE recording		MB2	(English)	en	Yes	No	
			MB3	(English AD)	en	Yes	Yes	
Av Cources			MB4	(French)	fr	Yes	No	
ax 300 ces			MBS	(French AD)	fr	Yes	Yes	
Bus Name	Channel Map	ping						
OB1 (Objects)	mono							
MB1 (Bed)	L - R - C - LFE	- Ls - Rs						
MB2 (English)	L - R							
MB3 (English AD)	L - R		<					>
MB4 (French)	L - R							
MB5 (French AD)	L - R			ways include an addition	al Programme without	ut any Dialogu	e	
			DG	enerate DirectSpeakers	as Objects			
								Close
Post-processing		Archiving Metadata						-
Keep in default librar	v	Insert Archiving M	letadata	if target is BWF				
Place in VCube		Generate Archivin	g Metad	lata XML along mixdown	files			
Wrap in Video	Settinos	_						
		Audio Definition Model	I (ADM)	& MPEG-H				
ADM or N	APEGH export	Insert ADM Metad	lata if ta	rget is BWF	Settings			
		Generate MPEG-H	Authori	ing Tool project				
			10.0		About			





Ambisonicサポート

予定されていたAmbisonicサポートは延期となり、Pyramix v12 Betaサイクルで計画されています。 Pyramix v11.1 BetaバージョンでAmbisonicコンポーネントを使用してプロジェクトを作成したユー ザーはPyramix v11.1のプロジェクトでも作業できますが、Ambisonic StripsまたはBusesで新しいプ ロジェクトを作成することはできません。

Album Publishing 機能の強化

- Album Publishing ファイルの名前付け機能の強化
 - 利用可能なタグを表示して追加するためのボタンが追加されました。
 - factory preset の追加されました。
 - User preset が別のファイルに保存できるようになりました。
- Album Publishingフィールドの消去が可能になりました。
- Gnerate CD Image からMTFF Digital Release が作成された場合、Cover artworkは含まれま せん。
- MTFFにエンベデッドされるCover artworkは、DiscWriteで使用されるものが使用されます。
- Digital Release 32ビット浮動小数点PCMサポート(DSDデリバリーのため)

Image Format	
Digital Release 24 bit Linear PCM (for PCM deli	veries) 🗸 🗸
Red Book CD Image (Stereo 16 bit 44.1 kHz) Digital Release 24 bit Linear PCM (for PCM deli Digital Release 32 bit Floating Point PCM (for D SACD Edited Master - Mixing Mode	veries) SD deliveries)
Digital Release File Location	

- DSD Digital Releaseのための+ 0dBFS情報 0 の送信を可能にするために、32Bit MTFF か ら DSD Digital Releaseが作成されます。 こ れは、24ビットのソースファイルからDSD ファイルを作成することを避けるために実 装されました。その場合、作成されたファ イルが0 DSD (Full Scale PCMより上)とな り、ファイルがクリッピングされる可能性 がありました。 Digital Release 32ビット浮 動小数点PCMサポートにより、この問題が 起こることはありません。
- Sigma Delta (DSD出力形式) またはSRC (PCM出力形式)の前に適用されるAlbum Publishing outputで使用可能なExtra Gainパ ラメータが追加されました。

Format	FLAC
Samp <mark>ling</mark> Rate	FLAC Ogg Vorbis WAVE AIFF PMI CD Image
Wordlength	DSF DSDIFF Edited Master LC-AAC
Dither Noise shaping filter	MP3 None
shaping nice	
SRC filter type	Apodizing
SRC filter type	Apodizing (will be used for any conver involving an S
SRC filter type Sigma Delta Type	Apodizing (will be used for any conver involving an S None

- 様々なDSD のAlbum PublishingでDSD変調レベル測定が可能になりました。
- Album Publishingの出力ファイルに DSDIFF Edited Masterが加わりました。3つの異なるサ ンプリング周波数より洗濯することができます:入力ソース形式に応じてDSD64、DSD128 またはDSD256 この改良により、ユーザーは Album PublishingでDSD Edited Mastersを作 成することができます。





新しい Album Publishing エンコーディング ダイアログについて

Album Publishingファイルが作成されると、ピーク測定が実行され、新しいダイアログウィンドウが 開きます。

Album Publishing Encoding				
Source Summary : - Input = D:\SonicRade \AlbumPublishing \SidewaysDigitalF - Format = PCM 32 bits FP - 352800 Hz - 2 channels - Input TOC = Sonic Rade - Sideways / 12 Tracks - Front Cover Artwork = D:\SonicRade - Nb Output jobs = 4 - Output folder = D:\SonicRade \AlbumPublishing	Release.mtff			spiie rede
Path name	Peak value	Nb Ch.	Form	Sampling Rate
D:\SonicRade\AlbumPublishing\SONIC RADE	1.16 dB SACD	2	DSF	DSD64 (2822400 Hz)
D:\SonicRade\AlbumPublishing\SONIC RADE	0.07 dB TP / 0.09 dB FS	2	MP3	44100 Hz
SonicRade\AlbumPublishing\SONIC RADE	-1.06 dB TP / -1.07 dB FS	2	WAVE	96000 Hz
D:\SonicRade\AlbumPublishing\SONIC RADE	-1.06 dB TP / -1.07 dB FS	2	WAVE	96000 Hz
D:\SonicRade\AlbumPublishing\SONIC RADE	0.19 dB TP / 0.23 dB FS	2	MP3	44100 Hz
				Cancel

- PCMで Album Publishingを行う場合、True PeakとPeakメータリングが可能になりました。
- DSDでのアルバム パブリッシングのプロセス中にDSDモジュレーション レベルが計測され ます。
- オーディオレベル超過の追跡とエラーレポート
- マスターインプットと作成中と作成されたファイルの情報表示がついた、新しいAlbum Publishing Progressウインドゥができました。
- Album Publishing のプロセスのログができました。ログ ファイルはAlbum Publishing プロセ スが終了すると指定されたフォルダに作成されます。

Dialog アイコンと値:

- Processing:
 - ø^ф 処理中 0
 - 🔮 プロセッシングは正常に完了し、検証されました 0
 - 🛇 プロセッシングがスタートできません 0
- Warging: 📕
 - Full scale: 0 dB 以上
 - True Peak: 0.1 dB 以上 0
 - DSD: 3.9 dB 以上 注意:プロセッシングをキャンセルすると警告が表示されます。
- Error Message Box:
 - An error occurred please consult the generated Log file (エラーが起こりました ロ グファイルを参照してください)
 - The log file is located in the destination folder of the published files (ログファイル は、作成されたファイルの保存先フォルダにあります)





新しくスタンドアロンとなったAlbum Publishing アプリケーション:

- Pyramix v11.1をインストールすると同時にインストールされます。
- 新しいアイコンがデスクトップに表示されます。
- PyramixのCustomインストールオプションでスタンドアロンモードとしてインストールすることも可能です。
- Standalone Album Publishingには、選択した出力メディアフォーマットに応じて必要なキー が必要です。
- Standalone Album Publishingは、複数のインスタンスを同時に実行できます。
- 各インスタンスの独立した設定(初期設定の変更時)が可能です。





Mixer :

VST3をサポートする新しいVSTホスティング

Pyramix v11.1は現在VST3プラグインをサポートします:

VST3プラグインは、その技術的進歩が認知されています。 VST3プラグインは固定数の入力と出力 に制限されなくなりました。パフォーマンスの向上、編集ウィンドウのサイズ変更(プラグインがサ ポートしている場合)、動的な複数の入出力がサポートされました。

- VST3プラグインはVST2プラグインおよびVS3プラグインとともにMixerでサポートされるよ うになりました。
- VST3はPyramixの起動時にデフォルトでスキャンされます。All Settings > Mixer > VST-Plugins にフォルダを記入する必要はありません(VST2プラグインは必要です)。

注意: VST3プラグインはc: \ Program Files \ Common Files \ VST3フォルダに追加するように指定 されています。このフォルダはPyramixの起動時にスキャンされます。

VST3プラグインは、FXレンダリングで使用できます

注意:Render> Effects Rackでは、VST3プラグインはサポートされていません

- Save Specialで以前のバージョンとして保存した場合(たとえば、名前を付けて保存v10.0ま たはv11.0)は、ミキサー内のVST3プラグインはゴーストプラグインとして残りまます。以 前のPyramixバージョンからはアクセスすることができません。 VST3のオートメーションは v11.1より前のPyramixバージョンでは行えません。
- ユーザー インターフェイスなしで提供されるVSTプラグインおよびVST3プラグインの一部 の汎用プラグインUIの実装

VST & VST3 Plugin Scanning dialog

VST Plugins Settingsの改善

- Settings>Mixer>VST Plug-ins Settings から、プ ラグインをスキャンして" Show" ボタンをク リックするオプションが追加されました。
- Pyramixの実行中にプラグインがインストール されている場合、プラグインをスキャンするに は、まずShowダイアログを開き、Updateド ロップダウン ボックスを使用して、スキャンの 構成を選択します。
- VSTおよびVST3プラグインのスキャン
- VSTプラグインをスキャンする(VST = VST2)
- VSTプラグインをクリーンアップしてスキャン する(VST2再スキャンを強制的に実行しま す)
- VST3プラグインをスキャンする

All Settings			M		
Hardware			Plug-ins List Menu displa	y type : Avail	able Mug-ins
Formats & Sync			Company Name		
- 🔄 I/O Interfaces			Category		Show
ASIO(ASIO4	ALL v2)		OVST Plugins Folder	Structure	- 1
MIDI Sync			0.000		
Mixer	Available	Plug-ins			
Level Meter					
Core Power Sav	Format	Effect Name	Company Name	Category Name	File Path
Mixer Settings	1 ormat	Enect Hume	company runc	category mane	C ID
Project	VST	Evo Channel	Flux:: sound and p	Effect	C: Progr
General	VSI	Phoenixverbsurr	Exponential Audio	Reverb	C: Progr
Record	VSI	R2Surround	Exponential Audio	Reverb	C: Progr
Controller Ma	VST	15E 808 V2.0	TSE AUDIO	Effect	C: Progr
Application	VSI	Altiverb /	Audio Ease	Reverb	C: Progr
- General	VSI	a/Compressor	Stitt Spatial Audio	Effect	C: Progr
- Editing	VSI	a /Delay	Stitt Spatial Audio	Effect	C: Progr
- Playback/Rei	VSI	a /Equalizer	Stitt Spatial Audio	Effect	C: Progr
- Jog/Chase	VST	a/Gate	Stitt Spatial Audio	Effect	C: Progr
- CD/SACD	VST	a /Monitor	Stitt Spatial Audio	Effect	Cilloren
Desktop Layi	VSI	a /Panner	Stitt Spatial Audio	Effect	C: Progr
- TimeLine Lay	VSI	a/Rotate	Sutt Spatial Audio	Effect	C: Progr
Location	VSI	Ambi Head	Noise Makers	Spacial	C: Progr
Automation	VSI	Ambi Pan	Noise Makers	Spacial	C: Progr
Background I	VST	Echorus	Tribk	Effect	C: Progr
TTY Pro I	VSI	EQuilibrium	DMGAUdio	Effect	C: Progr
Remote Control	VSI	EQuilibriumMono	DMGAUdio	Effect	C: Progr
Machine	VST	Alchemist V3	Flux:: sound and p	Mastering	C: Progr
Controller	VSI	Limitiess	DMGAUGIO	Effect	C: Progr
Virtual Trans	<	The blay	Marana Terhadiaa	Liner	>
Inne Steeton ZiX Pro ZiX Pro Machine Machine Virtual Trans Video Settings	VST VST VST VST (Blackliste	EQuilibrium Mono Alchemist v3 Limitless Dan Mais Idodate	DMGAudio PMGAudio Flux:: sound and p DMGAudio Mercine Technolog in red)	Effect Mastering Effect Effect	
			Lucius III		OK
	So	an VST and VST3 p	lug-ins		
	Sc	an VST plug-ins			
	C	lear and Rescan VS	I plug-ins		
		Leven L	P.03		
	So	an vS13 plug-ins			
Apply changes to	C	lear and Rescan VS	12 plug-ipr		





VSTルーティング

ユーザーがチャンネルのルーティングをカスタマイズできるようになりました。 左側の領域でプラグインUIから[オプション]メニューにアクセスできるようになりました。この領域 では、Editor または Routing ビューを選択できます。

- VST2およびVSt3プラグインのサポート(VS3サポートなし)プラグインユーザーインター フェイスで使用可能なVSTルーティングビュー
- ユーザーが自動チャンネルルーティングを変更できるようになりました
- 入力/出力セクションのチャンネルマッピングは、ストリップ/バスのチャンネル順に従います



Record improvements:

- ファイルの修復およびコンプライアンスの理由から、プロジェクト作成時のデフォルトのレ コード ファル形式はPMFからBWFに変更されました。
- バックグラウンドレコーダーを使用する場合、記録先のフォルダが選択されなかった場合、 バックグラウンドレコーダーは最後にマウントされたフォルダにファイルを記録します。





V11.1の改良点

Remote Controllerの改良点

- バスの色とセレクションが改良されました。これはリモート カラーをサポートしている全て のコントローラーで行えます。
 - トラック カラー サポート
 - ストリップ カラー サポート(トラックの色も変わります)
 - バス カラー サポート

General EMC の改良点

- VPot モード ナビゲーションの変更:全てのコントローラー
 - 以前の振る舞い: Multiple VPot モードでは、ボタンを押しても何も起こらない
 - 新たな振る舞い: Multiple VPot モードでボタンを押すと、VPotモードでサポートさ れている全ての機能をスクロールします(8個まで)。例: VPot Panでは、L/R> F/R > T/B > DIV > LFE > RoLR > RoFR > RoBT > L/R > ...と変化します。
- Loop mode status feedbackが追加されました。
- F1からF8キーまでがPyramixのShortcut editorにリマップされました: Mackie, SSL, Studer
 - 以前の振る舞い:これらのボタンは特定のVPotサブ アイテムを選択するために使用 されていました(例: VPot set to Pan > F1=L/R, F2=F/R, etc...)
 - 新たな振る舞い:これらのボタンはPyramixのshortcut editorに組み込まれました。 VPotサブアイテムの選択は、VPotモードボタンを複数回押すことで実行されます。
- Panning VPot ディスプレイの変更:全てのコントローラー
- Mic/Pre コントロール サポート: Mackie, SSL Nucleus
- HUIコントローラーのディスプレイタイムアウト:全てのコントローラー

SSL NUCLEUS コントローラーのHUIモードでのサポート

改良点:

- トランスポートのサポート •
- Jog/Scrub/Shuttleのサポート
- StripTools/BusToolsプラグイン コントロールのサポート
- Solo/Mute/Sendのサポート
- Horus/HapiのMic Pre-gainのサポート
- ストリップ毎のオートメーション モードのサポート

設定手順については以下を参照してください。

https://confluence.merging.com/display/PUBLICDOC/SSL+Nucleus+2+Installation+and+configuration

Nucleusのマッピングについては以下を参照してください。 https://confluence.merging.com/display/PUBLICDOC/SSL+Nucleus+2+Mapping

注意: Pyramixの All Settings > Controller で、MIDI EMC I / O設定は、コントローラーの「SSL NUCLEUS HUI」モードでNUCLEUSを使用していることを確認してください



ANEMAN 1.1.1 Spring 2018:

以下の機能が追加されました。

- 新しいSettingsメニュー:
 - アプリケーション ウィンドウのセットアップの保存とリコール
- Zoneの改良:
 - Zoneの構成の保存とリコール
 - 現在のサンプリング レートの表示
- Quick access メニュー
- エラーレポート
- 新しい Always run モード, "Dock icon"
- 「不明なプロダクト」用のアイコンの改良
- 安定性の向上
- 詳細は、<u>www.aneman.net</u>を御覧ください。

重要:ANEMANはv11.1からインストーラーがPyramixのインストーラーに含まれなくなりました。 www.aneman.net/#download からダウンロードしてください。

